

What Can Japan Learn from 'Regionalism' and Devolution in the UK?

Dr. Paul Cairney

(Professor of Politics and Public Policy,
University of Stirling)

日本は連合王国における
「リージョナリズム」と権限
委譲から何を学べるか

ポール・ケアーニ

(英国スターリング大学教授)

Introduction

- ◆ 'Regionalism' is the creation of a governing tier between central and local government.
- ◆ The UK experience could provide important lessons if we understand why Japan seeks that information.
- ◆ Lesson-drawing is only successful if we understand how and why policy developed in the UK – and if that experience is comparable to Japan.

はじめに

- ◆ 「リージョナリズム」は、中央政府と地方政府の間に新たな統治の階層を創出することである。
- ◆ 日本の政策決定者がなぜ当該情報を求めるのかを我々が理解した場合には、連合王国（イギリス）の経験は日本に重要な教訓を提供できる。
- ◆ 連合王国がその政策をどのように、そしてなぜ形成したのかを理解しない限り、しかも、その経験が日本と比較可能でない限り、教訓をうまく引き出すことはできない。

Comparing the UK and Japan

- ◆ Major differences in their politics and policymaking should be borne in mind.
- ◆ The main difference is in their reasons for pursuing regionalism.

日英両国の違い

- ◆ 両国の政治及び政策決定における大きな違いを念頭に置くべきである。
- ◆ 両国の大きな違いは、リージョナリズムを追求する理由である。

Democratic and Economic

- ◆ Devolution to Scotland and Wales addressed growing demands for self-government.
- ◆ Northern Ireland: uneasy compromise between unionist and nationalist actors.
- ◆ English regions: bigger focus on economic reasons for regionalism.
- ◆ This economic frame did not help sustain popular support in the English regions.

民主的理由と経済的理由

- ◆ スコットランド及びウェールズへの権限委譲は、自治を求める要求の高まりが強調された。
- ◆ 北アイルランド：ユニオニスト（統一主義者）とナショナリスト（民族主義者）間の容易ならざる妥協を反映している。
- ◆ イングランド：経済的理由に、より力点が置かれている。
- ◆ 経済的な理由は、イングランドにおけるリージョナリズムへの支持を持続させる助けにはならなかった。

Regionalism and Popular Support

- ◆ Japan: no equivalent regional identity and popular support for regionalism.
- ◆ The economic driver is much more significant –to promote economic development and reduce the size of the state and public debt.
- ◆ In that context, the UK experience has limited information to offer.
- ◆ It can offer negative lessons about the inability of an economic frame to sustain support for regionalism.

リージョナリズムと一般市民からの支持

- ◆ 日本の場合：連合王国と同水準の地域アイデンティティやリージョナリズムに対する一般市民からの支持を見いだすのは難しい。
- ◆ 日本の場合：経済的な牽引力の方がはるかに強力であり、経済成長を促進し、小さな政府や公的債務の削減を実現する手段として提示される。
- ◆ その文脈においては、連合王国の経験は日本に対して提供できる情報が限られている。
- ◆ 連合王国の経験は、経済的な理由だけではリージョナリズムに対する持続的な支持を提供できないというネガティブな教訓になる。

Can the UK provide lessons?

- ◆ More relevant lessons can be found when we identify the likelihood of 'asymmetric' regionalism in Japan.
- ◆ Devolution might be extended primarily to Okinawa, Hokkaido and the Kansai / Osaka.
- ◆ The UK has experience of asymmetry - different levels of support for devolution produce different arrangements in Scotland, Wales, Northern Ireland and English regions.

連合王国は教訓を提供できるか？

- ◆ より適切な教訓を見いだすことができるのは、日本において「非対称的な」リージョナリズムの可能性が認められる場合である。
- ◆ 権限委譲はまず沖縄、北海道、関西／大阪圏に対して行うことができるかもしれない。
- ◆ 連合王国は非対称的な権限委譲について経験を有しており、権限委譲に対する支持度の違いが、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド、イングランドの各地域における制度の違いに表れている。

The success of Scottish devolution

- ◆ The most sustained and significant level of devolution can be found in Scotland.
- ◆ Scotland offers useful lessons in regional policymaking
- ◆ It also offers lessons about central-regional relations after devolution.

スコットランドの権限委譲の成功

- ◆ 最も持続的で重要な権限委譲はスコットランドにおいて見ることができる。
- ◆ スコットランドは地域における政策形成に有益な教訓を提供する。
- ◆ 権限委譲後の中央政府と地域政府の関係に関する教訓をも提供する。

Scotland's experience

- ◆ Policy can be made at the regional level.
- ◆ Regional governments can form meaningful networks with social and business groups
- ◆ The Scottish Government has developed its own 'policy style'
- ◆ It benefits from its size and ability to develop personal networks with bodies such as local authorities which implement policy.

スコットランドの経験

- ◆ 政策は、地域レベルで行うことが可能である。
- ◆ 地域政府は、社会団体や経済団体と有意義なネットワークを構築することが可能である。
- ◆ スコットランド政府は独自の「政策スタイル」を確立している。
- ◆ その政策スタイルを確立できるのは、その規模及び政策を実施する地方自治体等の団体と個人的なネットワークを構築できることによる。

Scotland's experience

- ◆ It has developed meaningful relationships with business groups, albeit in the context of an economic policy reserved to the UK.
- ◆ This style has taken some time to develop – it is not a quick fix to an immediate economic crisis.

スコットランドの経験（続）

- ◆ スコットランド政府は、経済政策は連合王国に留保されているという背景はあるものの、経済団体とも有意義な関係を構築している。
- ◆ このスタイルは確立するまでに時間がかかっている。したがって、目先の経済危機に対する即効性のある解決策にはならない。

Scotland's experience

- ◆ The centre can maintain smooth relationships with devolved governments.
- ◆ Very little formal dispute resolution.
- ◆ The UK centre mostly disengaged from devolved policymaking
- ◆ There is very little overlap between central and regional policy responsibilities.

スコットランドの経験（続）

- ◆ 連合王国の中央政府が権限を委譲された政府と円滑な関係を維持できている。
- ◆ 正式な紛争処理を行う必要性はほとんど生じていない。
- ◆ 連合王国の中央政府は権限を委譲した政策に係る決定からほとんど手を引いている。
- ◆ 中央政府の責任と権限を委譲された政府の責任がほとんど重複していない。

Learning/transfer in the UK

- ◆ A lot of UK/regional policy convergence
- ◆ Mostly because each government frames policy problems in similar ways
- ◆ Or because UK policy for England makes devolved governments respond.
- ◆ Learning between regions, or from regions to the centre, is unusual.

連合王国における政策の学習と移転

- ◆ 連合王国と地域の政策の多くは似たものになってきている。
- ◆ その理由は、主として、それぞれの政府が政策課題について、同じように対処しようとしているためである。
- ◆ あるいは、イングランドに関する連合王国の政策が、権限を委譲された政府に対し、対応を求める力となっているためである。
- ◆ 地域間の、あるいは地域から中央への、政策の学習と移転はほとんど見られない。

Most Relevant Lessons From the UK

1.Support for Regionalism

The UK experience shows what it takes to create and sustain popular support and legitimacy for regionalism.

連合王国から学べる最も適切な教訓

1.リージョナリズムに対する支持

連合王国の経験は、リージョナリズムに対する一般市民の支持や正当性の創出・持続には何が必要とされるのかを示している。

Most Relevant Lessons From the UK

2. Regionalism and Economic Aims

Scotland shows the ability of regions to develop policymaking networks and governing styles - to coordinate regional policies promoting social and economic development.

連合王国から学べる最も適切な教訓 (続)

2. リージョナリズムと経済的目的

スコットランドは、地域には地域独自の政策決定ネットワークや統治スタイルを構築する能力とともに、地域の社会経済発展促進策を調整する能力があることを実証している。

Most Relevant Lessons From the UK

3. Intergovernmental Relations and Policy Learning

There is *potential* for regions to cooperate with national governments – to coordinate policymaking in shared areas, and to share lessons when they innovate.

連合王国から学べる最も適切な教訓 (続)

3. 政府間関係と政策学習

地域には中央政府と協力しつつ、共通分野の政策決定を調整したり、イノベーションを行う際に教訓を共有したりできる潜在能力がある。

Conclusion

- ◆ Be clear about how and why one country can learn from the experience of another.
- ◆ We must understand how and why policy was made in the 'exporting' country
- ◆ We cannot simply transfer programmes.
- ◆ In this case, only broad inspiration may be possible.

結論

- ◆ 1つの国が他国の経験からどのように、また、なぜ学び得るのかを明確に理解する必要がある。
- ◆ 経験を示す側の国において政策形成がどのように、また、なぜ行われたのかを理解しなければならない。
- ◆ 政策プログラムを移転するだけでは十分ではない。
- ◆ その場合には、一般的な示唆しか得られない。